

令和3年度

引野中だより

校訓

自主自律
文武両道

第10号

学力特集号

令和3年12月1日(水)

校長 峯 隆幸

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、3年生を対象として、「教科（国語，数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

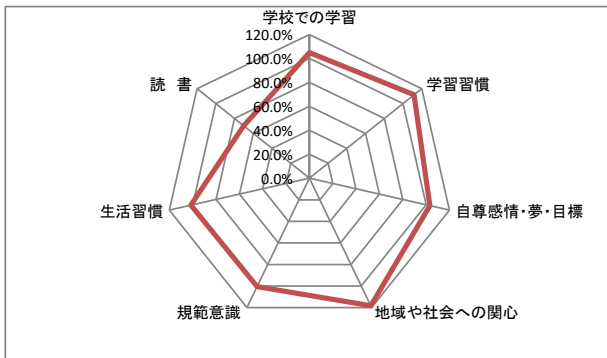
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	「書くこと」、「読むこと」に関する問題は、よくできていた。問題形式では、選択式の問題の正答率がやや低かった。	上回っている。
数学	どの領域もよくできていた。問題形式では、記述式の問題の正答率が選択式、短答式の問題の正答率に比べ、やや低かった。	上回っている。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>読書については、学校で1日10分間の朝読書に取り組んでいる。それ以外の家での読書に取り組んでいない生徒が多いと考えられる。</p> <p>地域や社会への関心が高く、地域の行事によく参加している。将来、生徒たちが、地域の活動の担い手になることを期待したい。</p>

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

自信をもって問題に解答ができるよう正確な知識を身に付けさせる取組。
普段から記述式の問題に取り組むような授業の工夫。

② 家庭生活習慣等に関する取組

土日のどちらかで、30分程度の家での読書を推進する。